

## 十条小学校日記（2月5日）

### 「未来の扉と甘い香り」

～クロステックミュージアム見学・森永鶴見工場見学～ 5年生～

2月5日、5年生はクロステックミュージアムと森永製菓の鶴見工場へ社会科見学に行ってきました。

クロステックミュージアムでは、会場に入った瞬間、子どもたちの目を輝かせたのは、最新のデジタル技術と伝統的なものづくりが融合した展示の数々です。

教科書で学んでいる「情報化」や「最先端技術」が、実際に私たちの生活をどう変え、支えているのか。シミュレーター体験やロボットのデモンストレーションを通じて、子供たちは肌で感じ取ったようです。

森永鶴見工場では、バスを降りた瞬間から漂うチョコレートの甘い香りに、子供たちのテンションは一気に最高潮へ。しかし、一步工場の中へ入ると、そこには人と機械が無駄なく配備された「ものづくり」の世界が広がっていました。

教科書で学んだ「オートメーション化」を目の当たりにし、猛スピードで商品が箱詰めされる様子や、衛生管理の徹底ぶり、環境に配慮した取り組みについての説明では、熱心に聞き入る姿が見られました。

私たちがふだん、当たり前のように口にしているお菓子が、どれほど多くの工夫と願いを込めて作られているか、その「裏側」にある熱意に触れました。また、自分たちの学びが、確かな「未来」につながっていることを実感できた貴重な一日となりました。



## 十条小学校日記（2月13日）

### 「子供たちの感性が花開く。～感性の教室～」～5年生～

2月13日、5年生の学習の一環として、「感性の教室」の方々による「花を観察して、いけてみよう」-花の命を感じて-を実施しました。

この教室は、生け花を体験し、伝統文化に触れるだけでなく、命あるものを慈しむ心を育む大切な機会となりました。子供たちは、花の香りに包まれながら、葉の曲線や花びらの色彩をじっくりと観察し、丁寧にハサミを入れていました。

講師の先生方に直接手ほどきをいただくことで、学校だけでは得られない豊かな学びとなりました。個人で作った作品は持ち帰り、学級みんなで完成させた作品は教室に飾ってあります。

